

資 料 編

1 関ヶ原町民アンケート

(1)きかせてください あなたのまち自慢

関ヶ原町では、関ヶ原町内の小学校・中学校の児童、生徒およびその保護者を対象として景観に関するアンケート「きかせてください あなたのまち自慢」を実施しました。このアンケートは、関ヶ原町の将来を担う子どもたちが思う、未来に残せるような関ヶ原町らしい風景や自慢のできる風景を把握するために実施しました。

■調査概要

実施時期 平成 31 年度

調査対象 関ヶ原小学校 / 関ヶ原中学校 / 今須小学校 / 今須中学校
上記学校の児童、生徒およびその保護者

回答者数 62 名

意見数 72 件

■調査項目

- ・ 学校名、学年、氏名
- ・ 自慢できる場所
- ・ 自慢できる場所をえらんだ理由
- ・ 写真

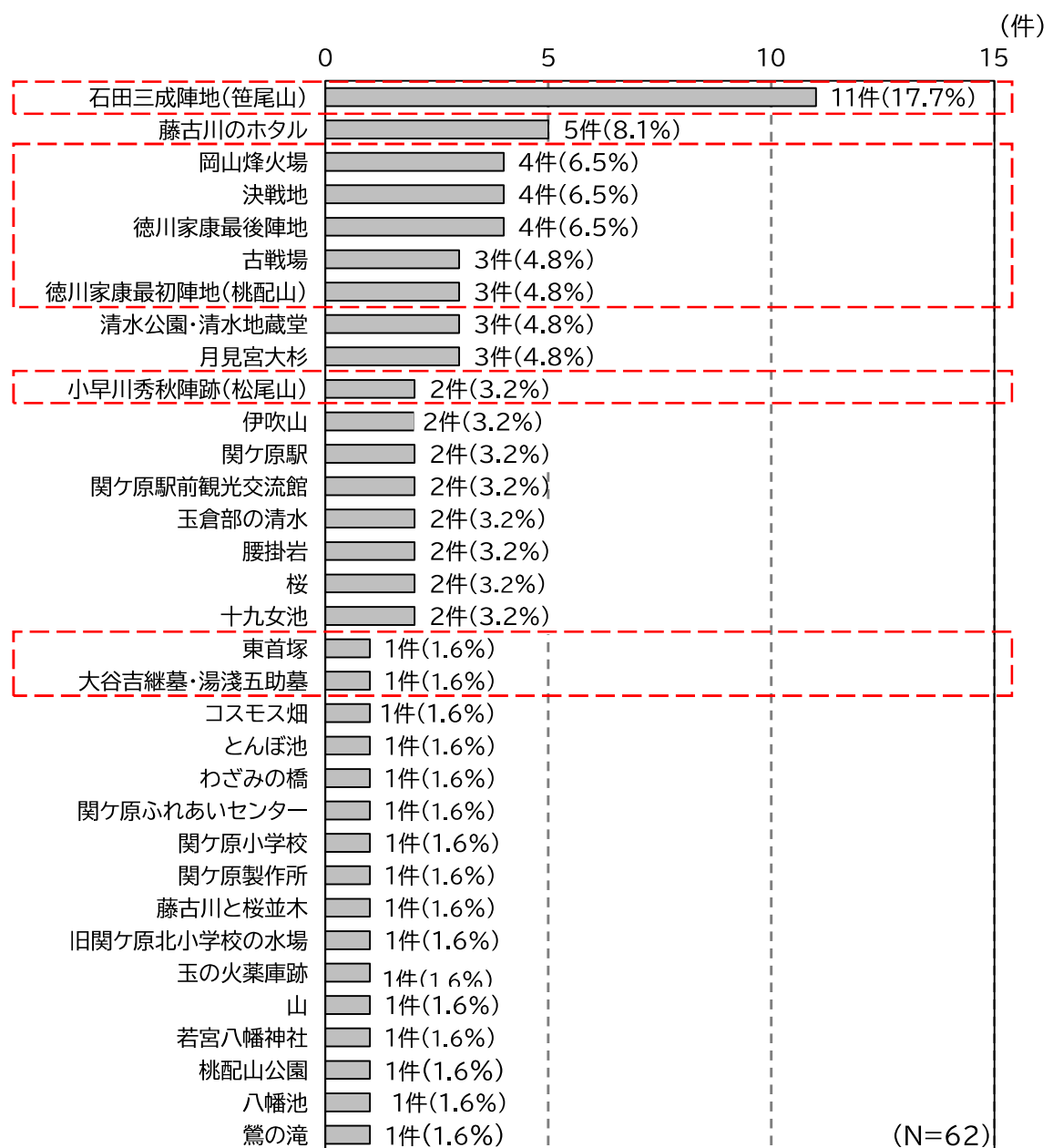
■調査結果

・自慢できる場所

自慢できる場所は、石田三成陣地（笹尾山）が11件（17.7%）と最も多く回答されました。選んだ理由としては、「歴史のあるとても偉大な人がいた場所だから。」など、関ヶ原の戦いで石田三成が陣地を置いたこと等の歴史的な人物や出来事に関する理由や、「笹尾山から南の遠くの方まで見えるから。」等の眺望に関する理由がみられました。

また、岡山烽火場、決戦地、徳川家康最後陣地がそれぞれ4件（6.5%）、古戦場および徳川家康最初陣地（桃配山）がそれぞれ3件（4.8%）と、関ヶ原古戦場関連の場所が上位となりました。

その他、藤古川のホタル5件（8.1%）、清水公園・清水地蔵堂、月見宮大杉がそれぞれ3件（4.8%）であり、自然や樹木、水に関連する様々な場所が挙げられています。



関ヶ原の戦い関連の場所

《自慢できる場所を選んだ理由》

資源名	理由
石田三成陣地 (笹尾山)	歴史のあるとても偉大な人がいた場所だから。
	有名だから。
	石田三成は有名だから。
	観光客に人気。歴史のある場所。
	歴史を思い浮かべられ、戦いから平和になったことを考えられるから。
	笹尾山から南の遠くの方まで見えるから。
	関ヶ原町が高いところからしっかり見えて、関ヶ原のことがくわしく分かる場所もあるから。
	頂上から古戦場全体を見渡すことができ、当時にタイムスリップした気分になるから。
	上からみても下から見ても、景色が良いから笹尾山と決戦地にした。
	関ヶ原町全体が見渡せる場所。石田三成が戦っていた陣跡だから。
	関ヶ原まつりのときに石田三成の陣地後で花火があがるのがとてもきれいだから。
藤古川の ホタル	夏になると毎年たくさんのホタルが出る。最近ではホタルのいるところが少なくめずらしいから。
	夏になるとホタルがきれいだから。
	たくさんのホタルが見れるから。夜見に行くときれい。
	毎年、藤古川できれいなホタルがいっぱいいる。
	藤古川には夏にホタルがたくさん飛んでいて、その姿がとてもきれいだから。
岡山烽火場	昔からある山だから。
	関ヶ原町を眺望でき、遠くの山を見れる。関ヶ原の戦いの武将が見た景色だから。
	登ると町全体を見渡せて景色がきれいだから。
	烽火場からの景色がいいから。
決戦地	有名だから。
	関ヶ原の戦いが行われた一番重要な場所だから。
	関ヶ原といたら関ヶ原の戦いだから。
	上からみても下から見ても、景色が良いから笹尾山と決戦地にした。
徳川家康 最後陣地	芝生なので遊んだりもでき、徳川家康の陣地があるから。
	公園が新しく変わってから新しくできたのですごくと思ったから。
	野球とサッカーができる場所だから。
	有名な関ヶ原の戦いがあった場所だから。
古戦場	石田三成と徳川家康の旗が並んでいて歴史を感じるから。
	有名だから。
	関ヶ原の戦いがあった印で昔から関ヶ原に住んでいる人に有名だから。
徳川家康 最初陣地 (桃配山)	徳川家康は戦いの味方や敵の攻撃が見やすいところで勝つためにここで動いたので、賢いと思う。
	初代将軍徳川家康がここで戦ったことやいろんなことがわかる理由が書いてあるので、徳川家康最初の陣地にした。
	最初の陣地だから。登った時の景色がきれいだから。
清水公園・ 清水地蔵堂	関ヶ原小学校南の清水公園横。昔からの水場のある清水地蔵堂。桜が非常に美しい。
	桜と伊吹山がきれいに見えるから。
	毎年きれいに咲いている桜だから。

資源名	理由
月見宮大杉	ものすごく大きな杉の木があるから。僕が両手を広げた長さより太いから。
	800 年も昔から生きていること。枝が折れても上手に保存して人と共に存在しているから。
	福島正則が戦っている前（800 年前）からあるすごい木だから。
小早川秀秋陣跡（松尾山）	笹尾山、丸山、天満山等の古戦場が良く見えるから。
	山へ登れて頂上から景色を見るときれい。道も整備されて登りやすい。小早川秀秋が布陣していた場所。
伊吹山	春夏秋冬で景色がいいから。
	日本の風景の伊吹山はとてもきれい。
関ヶ原駅	僕はこれで関ヶ原を学んだ。
関ヶ原駅前観光交流館	いろんな人が関ヶ原を訪れて自転車で満喫できるから。観光客が関ヶ原がわからないときにマップでどこがどこかわからないので素敵だなと思う。
	ほかの場所や町からきたひとでも関ヶ原のことがいっぱいしれるし関ヶ原にはこんなお店がこんなところにあるんだなあとサイクリングで知れるからいいと思う。
玉倉部の清水	日本武尊を復活させたのすごいと思ったから。
	関ヶ原だと関ヶ原の戦いを思う人が多いと思うけど、壬申の乱に関わったということで清水にした。あと水が冷たいから。
腰掛岩	関ヶ原だと関ヶ原の戦いを思う人が多いと思うけど、壬申の乱に関わったということで清水にした。あと水が冷たいから。
桜	毎年春になると満開の桜がきれいに咲くから。
	木がかくれるくらい桜の花が毎年咲く。何人もの人々が車や足を止めて桜の木の下で写真をとっている。（祖母の話）
十九女池	亀とか鯉がいるから。午後 5 時になるとドクターイエローも通る。
	魚も少しいて、水が汚れていないから。池から新幹線と山が見えるから。
東首塚	関ヶ原にしかない風景だから。全国からいろんな人が訪れるから。
大谷吉継墓・湯浅五助墓	大谷吉継の家来の五助は戦いに負けて、自刃した吉継の首を隠した。首の場所を黙っていてももらうために、自分の首を差し出したから。
コスモス畑	関ヶ原もりあげ隊が作ったコスモス畑はとても鮮やかできれいだから。
とんぼ池	動物がいて、静かだから。旅行にきたみたい。
わぎみの橋	カルタの取り札の絵と読み札の言葉が乗っていておもしろいから。
関ヶ原ふれあいセンター	広いし本を読めるスペースもあってコンサートもやるところもあるので良いと思う。
関ヶ原小学校	学校は楽しくて大好きだから。特に人間の風景が好き。
関ヶ原製作所	関ヶ原製作所が所有する大きな設備だから。
藤古川と桜並木	川面に映る桜、川のせせらぎの音に心が癒されるから。
旧関ヶ原北小学校の水場	きれいで冷たい水が山から流れて来ていて、金魚を飼っていた時は、水替え用の水を汲みにきていた。
玉の火薬庫跡	すごく昔からある所で日本にも少ししかないから。
山	きれいな鳥の鳴き声が聞こえるので。
若宮八幡神社	とても古い由緒ある神社で、地域の人々が大切にしている。いつ行っても綺麗でいごちのよい所なので私も大切にしていきたい。山中の JR 高架下のトンネルからの風景。人里と森を隔てるトンネルは子どもの頃からワクワクする場所。なんとなくジブリっぽい。
桃配山公園	テニスコートや運動場もあるし滑り台や川もあっていっぱい遊べるから。
八幡池	自然が豊かで、春はおたまじゃくし、夏はせみとカワセミ、秋はどんぐり、冬はカモが見れるから。
鶯の滝	鎌倉、室町時代の山中村は栄えていた。今須峠を通る人の休憩場所。今もうぐいすが鳴く。

注:「自慢できる場所を選んだ理由」は、原文を掲載していますが、明らかな誤字等は文意を損ねない範囲で修正しています。

《写真例》

関ヶ原の戦いに関わる場所



石田三成陣跡
(笹尾山)



石田三成陣跡
(笹尾山)



小早川秀秋陣地(松尾山)
からの眺望

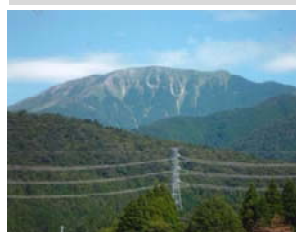


決戦地



岡山烽火場の
竹林

自然に関わる場所



伊吹山



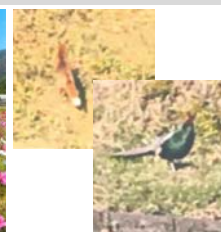
藤古川と桜並木



月見宮大杉



コスモス畑



とんぼ池に住む
動物

水に関わる場所



八幡池



玉倉部の清水

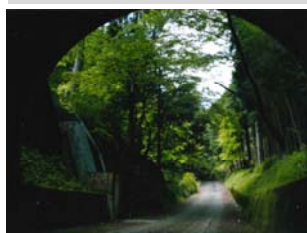


鶯の滝



旧関ヶ原
北小学校の水場

交通に関わる場所



八幡神社(山中)
前のトンネル



わざみの橋



十九女池と新幹線



関ヶ原駅

産業に関わる場所



大規模工場と
庭園



大規模工場の
クレーン

人々の交流に関わる場所



関ヶ原駅前観光交流館



桃配山公園

(2)関ヶ原町の景観に関するアンケート

住民における関ヶ原町の景観や、景観計画に対する意識を把握し、景観計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

■調査概要

調査日時	令和2年8月14日～9月4日
調査対象	関ヶ原町にお住まいの方（10才以上の男女）
配布総数	600
回収数	244
回答率	40.6%

住民アンケート調査について

(1)はじめに

景観は地域固有のものである。景観形成に地域の住民は大きな役割を果たす。また、住民による景観の捉え方を把握することは、詳細な地域の景観や長期的に地域に求められることの把握ができ、最終的には良好な地域の存続につながると考えられる。そのため、景観計画には住民意見や意識の把握が不可欠である。そこで、住民における関ヶ原町の景観や景観計画に関する意識を把握することを目的としたアンケート(以下、住民アンケート)を実施した。本章では住民アンケートの結果から読み取られる住民の意向や傾向、提示された景観を報告する。

(2)調査方法

住民アンケートの概要を表1に示す。調査票の内容を表2に示す。自由記述によって得られた回答については、テキストマイニングを行うソフトウェア KHCoder¹⁾を用い頻出語句の抽出と、各語句の繋がりと頻度を図化した共起ネットワークを作成する。この図からは各単語の関係性の分析を行う。

(3)回答者の属性

設問1では回答者の属性を把握した。回答を図1から図5に示す。

図1に年齢、図2に職業の割合を示す。

表1 住民アンケートの概要

調査名称	令和2年度 関ヶ原町の景観に関するアンケート
調査目的	住民における、関ヶ原町の景観や景観計画に対する意識の把握
調査対象	関ヶ原町住民(10歳以上)
配布方法	郵送
回答期間	2020年8/14～9/4
総配布数	600枚
回収数	244枚
回収率	約40.7%

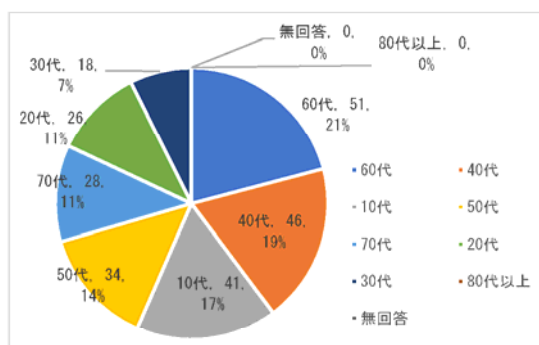


図1 設問1-2 回答者の年齢

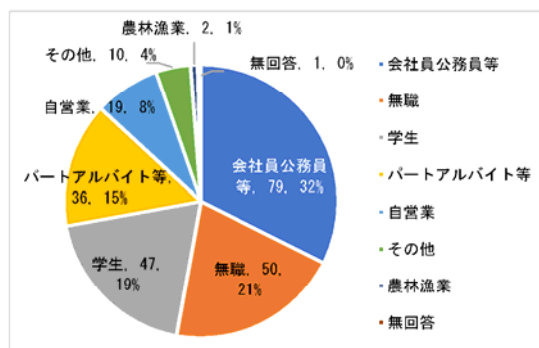


図2 設問1-3 回答者の職業等

表2 住民アンケート 調査票の内容

設問番号	設問概要	形式	設問の内容
1 1-1～1-6	回答者の属性	択一	1-1 性別、1-2 年齢、1-3 居住地域(大字)、1-4 職業、1-5 勤務地・通学地など自宅以外で長く過ごすのは町内か町外か、1-6 まつりや自治体活動等地域活動への参加状況
2 2-1～2-3	景観への意識	択一	2-1 関ヶ原の景観を好ましいと思うか、2-2 関ヶ原の景観を守っていききたいと思うか、2-3 普段の暮らしのなかでまちの景観を意識することはあるか
3	関ヶ原らしい魅力的な景観と思うもの	複数選択 自由回答	以下の9つの選択肢から選択(各景観について3枚写真を提示して質問) 1 自然(山並み・生態系)、2 水に関する景観、3 歴史(合戦などを感じる歴史景観)、4 伝説伝統(伝説・伝説を感じる景観)、5 暮らし(まちや農山村の暮らしの景観)、6 街道景観、7 農林業景観、8 交通・工業景観、9 その他(自由回答)
4	季節や時期で変化する景観	自由回答	風習、祭礼、動植物など季節や時期などにより変化しその瞬間しか見ることのできない、良いと思う景観について、次の3項目に回答 景観の内容、その景観の見られる場所・特徴
5	言葉に現れる景観	自由回答	地域や生活において日常の中で使われる関ヶ原にある特定の事柄(川、山、田、動植物など)を含んだ言葉
6 6-1～6-3	景観計画に対する意識	択一	6-1 景観を守っていく景観計画の策定は重要か、6-2 行為の届出義務によって調和を図るための制限について重要か、6-3 景観計画に関する取り組みや制限などに協力できるか
7	意見・要望等	自由回答	景観に関する意見・要望等

回答者の年代は10代が17%、学生が19%である。この結果から、若者の景観への関心が読み取られる。町内の小中学生は、学校を通してアンケートを依頼したことも、10代、学生が多くなった理由であると考えられる。

図3に回答者の居住地の大字の割合を示す。大字関ヶ原の住民の回答が64%と多数となった。この結果は大字ごとの人口割合と同程度であると考えられる。

図4は「勤務地・通学地など、自宅以外で過ごす時間が長い場所」について、関ヶ原町内と関ヶ原町外という選択肢を設けた質問への回答の割合を示す。過ごす時間によって景観の感じ方や着目する景観が異なると考えられるため質問した。結果は「町内」と「町外」の割合はほぼ等しくなった。

地域活動への参加状況を図5に示す。これは、景観形成の住民参加や景観意識に繋がると考える。「必要に応じて参加する」の回答が多く、次いで「あまり参加しない」、「積極的に参加する」という結果となった。

(4) 景観への意識

設問2の景観への意識に対する回答の割合を、図6から図8に示す。

図6は設問2-1「関ヶ原の景観を好ましいと思いますか」に対する回答割合を示す。「思う」という回答が過半数を占める64%となった。

図7は設問2-2「関ヶ原の景観を守っていききたいと思いますか」に対する回答割合を示す。「思う」の回答率が75%と高い。図8は設問2-3「普段の生活のなかで、町の景観を意識することはありますか」に対する回答割合を示す。「ある」が過半数を占める56%である。設問2-1、2-2に比べ「ない」が「わからない」という回答より

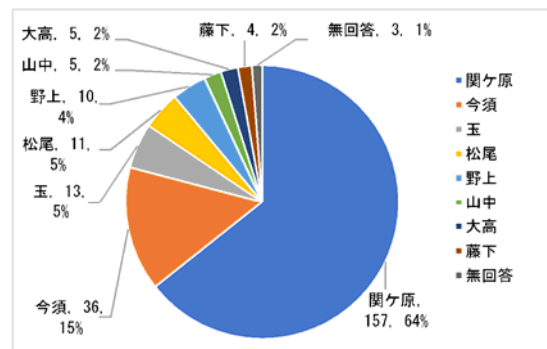


図3 問1-4 回答者の居住地の大字

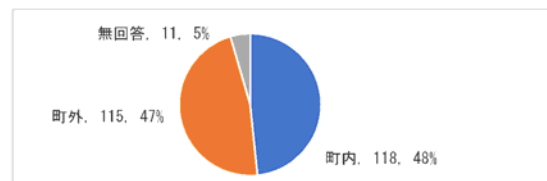


図4 設問1-5 勤務地・通学地など自宅除き長時間過ごす場所

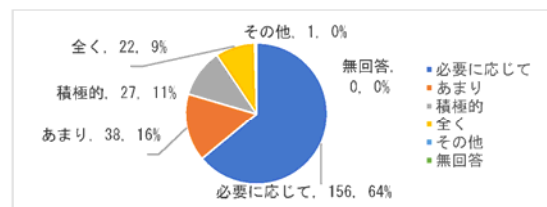


図5 設問1-6 地域活動への参加状況

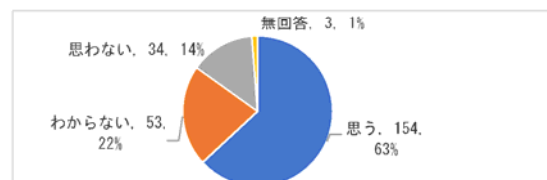


図6 設問2-1 景観は好ましいと思うか

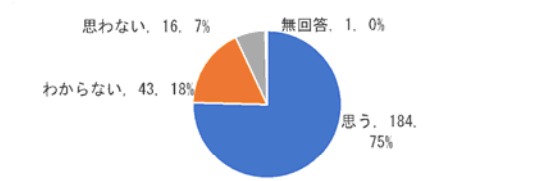


図7 設問2-2 景観を守っていきしたいと思いますか

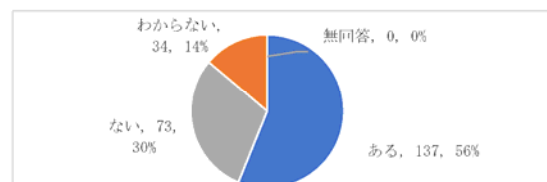


図8 設問2-3 普段の生活のなかでまちの景観を意識することはあるか

高い割合となった。設問 2-1 いずれも「思う」または「ある」という回答が過半数を占め、景観に対する意識を持っていることを伺うことができる結果となった。景観を意識することが「ない」という回答は 30%と、設問 2-1、2-2 の「思わない」に比べて多い割合を占めた。

(5) 関ヶ原らしい魅力的な景観

図 9 は「関ヶ原町らしいと思う魅力的な景観」について、表 2 に示す選択肢から選択された数を示す。昨年実施した現地調査から導き出した関ヶ原の景観の 3 分類²⁾である「歴史」、「自然」、「暮らし」に項目を整理した。

最も多く選択されたのは「歴史」で 85.7% である。関ヶ原が壬申の乱や関ヶ原の戦いなどの「古戦場の町」と認識されていることが結果に表れたものと考えられる。次ぐ自然（山並みや生態系）も歴史とほぼ同じ割合で回答されている。

「暮らし」に分類される景観の選択が少ない傾向である。普段の暮らしの中で、あることが当たり前となっており、関ヶ原を特徴づける景観として認識されていないことが考えられる。また悪い景観や問題点の方が指摘しやすいことも背景にあると考える。

自由記述では、具体的な景観、特定の場所から見られる眺望を挙げる回答、多様な景観が存在することを良いとする回答などが挙げた。ほか、魅力的に感じないという回答、分からないという回答が挙げられた。

(6) 季節や時期で変化する景観

設問 4 は風習、祭礼、動植物など季節や時期などにより変化し、その瞬間しかみることのできない良いと思う景観について、景観の内容、その景観の見られる場所・特徴

を回答する問である。関ヶ原の景観の 3 分類の整理は 2019 年 9 月に行った現地調査を基にしており、他の季節や時期に行われる景観を確認することができなかったため、この質問を設けた。

表 3 は KHcoder によって設問 4 の回答から抽出された品詞別の頻出語である。桜が

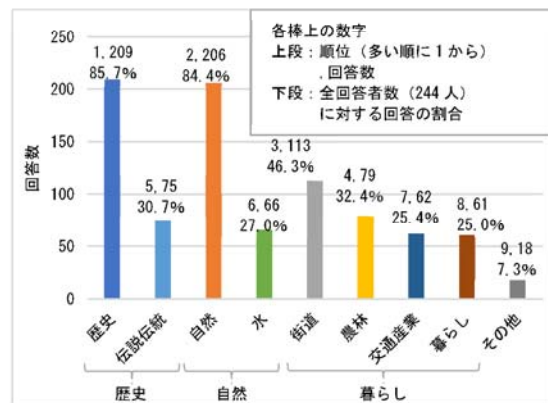


図 9 設問 3
関ヶ原らしいと思う魅力的な景観

表 3 設問 4 頻出語

名詞	サ変名詞	副詞可能	動詞
花火 14	紅葉 14	夏 10	見る 22
周辺 12	奉納 7	秋 10	見える 10
地区 12	固有名称 7	前 9	咲く 8
田圃 12	関ヶ原 34	春 8	感じる 7
コントラスト 11	笹尾山 25	冬 7	思う 7
新幹線 11	伊吹山 21	昔 6	行く 5
付近 11	十九女池 21	名詞C	動詞B
雪景色 8	今須 18	桜 47	する 19
町内 8	藤古川 17	花 20	ある 8
役場 8	関ヶ原祭 15	螢 13	できる 6
季節 7	北小 15	山 11	なる 6
景観 7	21号 10	雪 10	形容詞
景色 6	花火場 8	道 10	良い 16
四季 6	山中 6	池 9	美しい 12
大字 6	合戦祭り 6	月 7	形容動詞
彼岸花 6	丸山 5	南 7	綺麗 34
神社 5	決戦地 5	梅 7	形容詞B
睡蓮 5	町民プー 5	旧 6	よい 7
提灯 5	組織名 5	緑 6	ない 6
辺り 5	秋葉神社 6	玉 5	副詞B
並木 5	名詞B 5	町 5	とても 9
備考	まわり 5	木 5	

備考
・「景観の内容」「場所」「特徴」をコンマで区切り 1 文にしたものを 1 つの回答とし、分析した
・出現回数上位から 10%（出現回数 5 以上）の語を掲載
・数字は出現した回答（KHcoder における「文書」）の数
・品詞問わず、出現した回答の数が多い順に赤字で着色

最も多く 47 回答で出現した。桜が多く、の場所に存在し季節を感じさせる景観となっていることが分かる。笹尾山 (25 回)、十九女池 (21 回)、藤古川 (17 回) などは関ヶ原町内にある場所の名前である。これらは景観の良い場所として親しまれているものだと考えられる。伊吹山 (21 回) は主に季節を感じさせる遠景として挙げられている。全体として、季節ごとの自然の景観が多く挙げられている。

時期が関わる行事では「関ヶ原祭り」が多く挙げられた。

図 10 は設問 4 の各単語がどのような繋がりを有しているかを可視化したもので、場所に固有の景観のうち多く挙げられたものを読み取ることができる。例として、藤古川と関ヶ原祭りについて述べる。藤古川は蛍や 21 号の橋とともに回答された。具体的には、藤古川にかかる 21 号の橋から見る桜並木について 6 人が、藤古川の蛍について 9 人が回答した。川の流れそのものよりも、その季節にしか感じることでできない景観があげられた。関ヶ原祭りでは、町民プールを花火場とする秋葉神社の奉納花火 (煙火) が行われるということが回答されている。

(7) 言葉に現れる景観

設問 5 は日常の中で使われている言葉 (諺など) に現れる景観を尋ねるものである。私たち日本人は四季折々に起こる出来事を、言い伝えの中で受け継いでいる。これらのなかには、生命の維持や災害の経験から注意を促す事柄が内包されているものも見られる。このような、人々の生活に溶け込んでいる景観についても調査した。設問では「伊吹山が 3 回白くなると町に雪が降る」という言葉を例示して、似たような言葉が

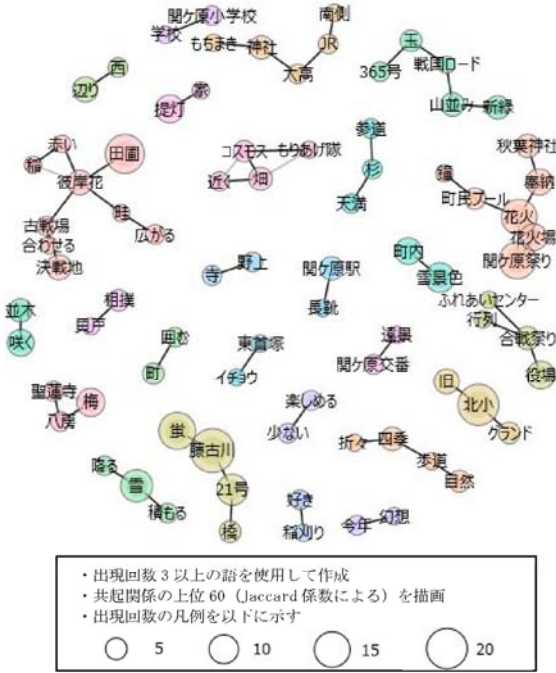


図 10 設問 4 各単語の関係

表 4 設問 5 頻出語

固有名詞	動詞	形容詞
関ヶ原	8 降る	17 多い
副詞可能	言う	9 形容詞B
冬	6 動詞B	ない
名詞	する	8 よい
カメ虫	20 なる	7 否定助動詞
名詞C	ある	6 ない
雪	26 副詞	ん
年	12 特に	5

表 5 設問 5 内容の分類

分類方法	種類	回答数	備考・内訳
文の種類	仮定文	37	
	ない/わからない	15	
	その他	16	
地域	伝聞	5	(伝え聞いた相手が明示されている言葉) 家族: 2 高齢者: 1 町外: 2
	指定なし	41	(「関ヶ原」と言う言葉は含まれないが、関ヶ原全域についての文とも考えられるものも含まれる)
	関ヶ原全域	10	(「関ヶ原」が回答に含まれる表 5 と数が異なるのは 1 回答を言葉毎に分けて表 7 を作成のため)
	部地域	2	玉: 1 西谷: 1
地域の比較・境界	地域内	9	町外との比較: 4 町内での比較: 3
	文化の境界	2	文化の境界: 2

ないかを調査した。この結果を表 4 に示す。

回答総数はのべ 283 件あり、単語に着目すると「雪」、「降る」が多く挙げられた。

表 5 は文の種類、伝聞、地域の観点から回答および含まれる内容を分類した結果である。分の種類について、例示した文章と同じ、仮定文である言葉が 37 个回答された。なお、このうち「カメムシが多い年は雪が多い」という言葉が 18 件、例示した言葉が 2 件であった。

言葉には地名が含まれるものも多い。仮定文の条件に含まれる地名を除く、言葉が対象にしている地域について分類した。関ヶ原全域についての言葉が 10 件、地域同士を比較するものが 9 件であった。地域を比較する文が挙げられたことから、住民は関ヶ原とほかの地域との違いを認識していることが読み取られる。表 6 に仮定文を条件部分と後続の内容に分け、含まれる内容を分類した結果を示す。仮定文の条件部分で挙げた言葉は、多い順に特定の場所が 8 件、気象が 8 件、虫が 21 件（うち 18 がカメムシ）である。

仮定文で条件の後に続けられる内容は気象が 32 件（27 件が雪、うち 18 件がカメムシと関連づけられた文）、季節が 4 件である。関ヶ原は雪が多く降る地域であり、雪が生活に影響を与えることから、雪を予測する言葉が伝えられてきているものと考えられる。特定の場所として分類した伊吹山（6 件）は雪や雨といった気象を予測する文が 5 件であった。気象は生活に影響を与える。このことから、伊吹山は視覚的に良い景観であるだけでなく、生活の中で見られてきた景観であると言える。

(8) 景観計画への意識

設問 6 は景観計画への意識について質問した。図 11 から 13 に結果を示す。設問 6-1 では「建物の色彩などを、関ヶ原町の景観

に合わせ、関ヶ原の景観を守っていく景観計画の策定についてどのようにお考えですか。」と質問した。設問 6-2 では「景観計画では、関ヶ原町の景観を守るために、一定以上の建物の建築などの行為の届出を義務付け、周辺の景観との調和を図るための色彩等の制限をすることができます。このことについてどうお考えですか」と質問した。設問 6-3 では「景観計画は、関ヶ原町の景観を後世に伝えていくために、住民の皆さんの協力が不可欠です。景観計画に関する取り組みや制限などに、協力していただけま

表 6 設問 5 仮定文の内容

条件	特定の場所	8	伊吹山：6 その他山：1（明神山） その他：1（家裏の竹林）
	作物	3	稲：2
	生活	1	チャイム：1
	気象	8	雪：2 雲：4 雷：1 霜：1
	虫	21	カメムシ：18 蜘蛛：1 ミノムシ：1 ひぐらし：1
後続の内容	作物	1	柿：1
	生活	2	受験：1 帰る時間：1
	季節	4	冬：1 春：1 梅雨明け：1 季節の変化：1
	気象	32	雪：27 雨：3 気温：1 台風：1

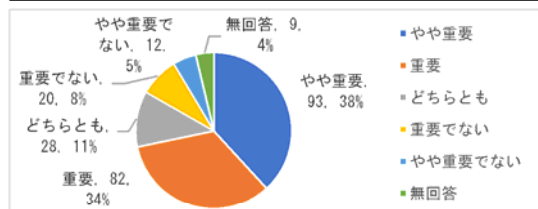


図 11 設問 6-1 景観計画の策定は重要か

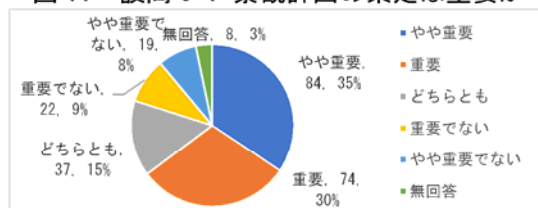


図 12 設問 6-2 行為の制限等は重要か

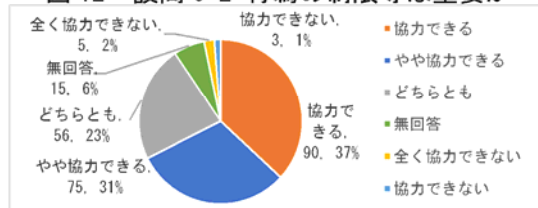


図 13 設問 6-3

景観計画の取組・制限に協力できるか

すか。」と質問した。設問6-1と6-2はともに多く選択された順に「やや重要」、「重要」、「どちらともいえない」、「重要でない」、「やや重要でない」、無回答である。「やや重要」と「重要」の差は4%、5%と小さい。設問3は「協力できる」が「やや協力できる」を6%超えるという結果になった。

(9) 自由記述欄の分析

設問7は景観に関する要望や意見を自由回答する設問である。表7は設問7の頻出語とその出現回数を示している。

図14は設問7の回答と、設問7以外の回答欄に記入されているが、要望や意見と判断した文の各単語の関係性をまとめた図である。

Community01は、観光地、施設、飲食店、公園といった人が滞在する場所についての意見である。公園は出現数が8回である。公園が少ないという意見は5件、子供が遊べる公園が少ない、または減ったという意見は2件回答された。

Community02は「道」、「いい」、「史跡」に繋がる回答である。「いい」からは陣(陣跡、陣地)、駅前、蛸が接続している。陣跡、陣地とその周辺について良い点2件、改善や提案が5件挙げられた。駅前には改善提案が5件回答されている。「道」は7回出現し、史跡に向かう道については6件、うち改善・提案が4件、良い点が2件である。

Community03は笹尾山や家屋に関わる景観についての意見である。笹尾山と家屋は「昔」という言葉が出てくる文の中で出てくると、古戦場に家屋が建つことについての意見がある。笹尾山は11回出現し、笹尾山について1件、周辺の景観について2件、笹尾山に向かう道について2件、笹尾

表7 自由記述における頻出語

名詞	サ変名詞	動詞	形容詞	
景観	59 整備	11 思う	87 良い	17
歴史	14 観光	10 作る	20 多い	12
建物	13 協力	8 守る	19 少ない	9
道路	13 設置	7 見る	15 美しい	8
古戦場	12 意識	6 考える	15 悪い	6
観光客	12 お願い	5 感じる	14 新しい	6
看板	10 開発	5 住む	9 難しい	6
住民	10 合戦	5 分かる	9 形容詞B	
場所	10 アピール	4 来る	9 ない	17
子ども	9 飲食	4 見える	8 ほしい	11
公園	8 活用	4 出る	6 いい	8
雑草	8 管理	4 楽しめる	5 よい	5
色彩	8 規制	4 建てる	5 形容動詞	
行政	7 計画	4 言う	5 重要	12
史跡	7 建築	4 行う	5 必要	12
陣	7 施設	4 咲く	5 綺麗	12
町民	7 制限	4 使う	5 大切	8
景観計画	7 奉納	4 植える	5 自然	6
観光地	6 固有名詞	増える	5 大事	6
駅前	6 関ヶ原	33 遊べる	5 いかが	4
感じ	6 笹尾山	11 残る	4 副詞可能	
周り	6 関ヶ原駅	9 増やす	4 今	7
アンケート	5 21号	7 通る	4 前	7
ゴミ	5 十九女池	4 動詞B	近く	6
空き家	5 名詞C	する	154 昔	5
国道	5 町	23 ある	50 副詞	
周辺	5 人	16 なる	36 特に	9
役場	5 家	9 できる	23 全く	4
花火	4 店	8 いう	5 副詞B	
蛸	4 道	7 いる	5 もっと	11
事業	4 色	6 形容詞(非自立)	とても	8
草刈り	4 草	6 ほしい	25 どう	8
地域	4 田圃	5 いい	9 否定助動詞	
田畑	4 木	5 良い	7 ない	65
電柱	4 花	4 やすい	5 ん	8
	山	4 よい	5	

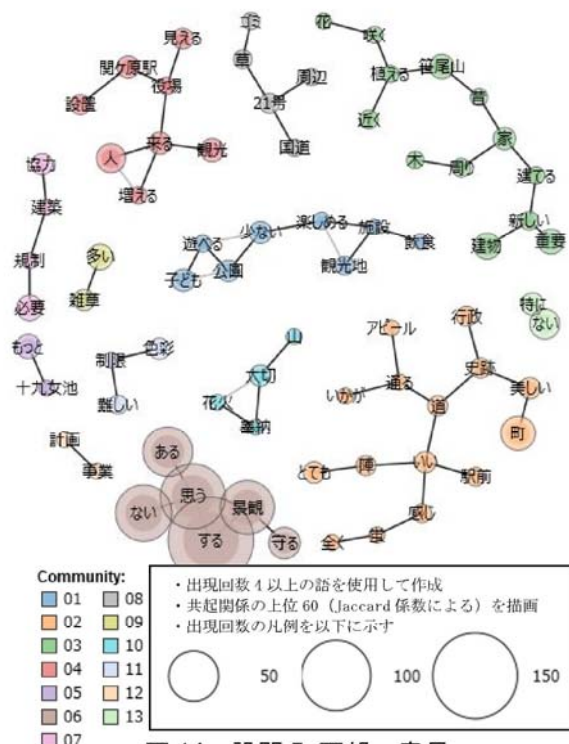


図14 設問7 要望・意見の各単語の関係

山への眺望について2件挙げられた。「家」は9回出現した。家屋の制限については5件回答されている。「建てる」という語からは「家」のほか新しい建物の建設が共起される。「建物」は13回出現した。「建物」を含む意見のうち景観計画での新しい建物の取り扱いについての意見が9件である。

Community04は役場や駅周辺、観光といった人が多く来る場所やことについての意見である。駅は9回、役場は5回、観光は10回出現している。

Community05は十九女池についての意見である。「十九女池」の出現数は4回である。うちアピールする提案の意見が3件回答された。

Community06は景観についての幅広い意見である。「景観」は59回出現した。これらを分類すると、現状の景観について、今後形成される景観について、景観計画について、景観の優先順位や必要性についての大きく4つに分けられた。

Community07は建築の規制や協力に当たる課題や必要性についての意見である。「建築」は4回、「協力」は8回出現した。「協力」については協力できるという意見が2件、協力して行うことの提案が2件、協力にあたる課題が4件回答されている。

Community08は国道21号など道路沿いの景観上の課題や要望の意見である。課題として「草」が6回出現した。

Community09は雑草の多い場所についての意見である。「雑草」は8回出現している。

Community10は大切にすべきものについての意見であり、秋葉神社奉納煙火についてが4件である。

Community11は色彩の制限についての課

題などの意見である。「色彩」は8回出現し、必要性やどのような場所で必要か、どのような色彩にするべきかという意見が述べられている。

Community12は景観と事業の折り合いのつけ方についての意見である。

(10)まとめ

今回のアンケートは、これからを担う10代の回答比率が高いことが大きな特徴である。人口減少と関ヶ原町内に高校がないため、若者が町外に流出せざるを得ない状況において、関ヶ原の歴史や景観に関心を寄せてくれることはとても心強い。

古戦場は、広がりのある土地が保全されているからこそ感じられる。古戦場がまちづくりの核であり、また町の誇りでもあることから、古戦場を含む現在の景観に対する町民の関心が非常に高い結果となった。さらに、日本人ならば誰もが知っている日本史における重要な戦いの地であること、伊吹山を代表とする自然が豊かであることから、この2つに関する景観がよく認識されていることが分かった。これらの景観を保全し、また観光などの資源として生かしていくことが重要となる。

住民の高い意識を背景として、関ヶ原町の景観の良さを、次世代につなぐ景観計画の策定を進めていく必要がある。

参考文献

- 1) 樋口耕一, 「テキスト型データの計量的分析—2つのアプローチの峻別と統合」, 『理論と方法』 19(1): p101-115, 2004
- 2) 桐山日菜子, 「関ヶ原町の景観と類型化に関する研究—景観要素の現地調査による類型化—」, 岐阜工業高等専門学校 建築学科令和元年度卒業研究発表梗概集, 2020年2月, P29-30

2 策定体制

関ヶ原町景観計画は、「関ヶ原町景観計画策定委員会」において審議し、住民、事業者の皆さまとの合意形成を図りながら策定しました。

■関ヶ原町景観計画策定委員会

氏 名	備 考
松本 直司（委員長）	名古屋工業大学 名誉教授
櫻木 耕史（副委員長）	岐阜工業高等専門学校 建築学科 准教授
澤頭 典男	商工会青年部
高木 英樹	関ヶ原観光協会
北村 一磨	関ヶ原もりあげ隊 隊長
森田 陽二	工場関係者
山口 知加	工場関係者
草野 也子	地域事業者
藤井 健太郎	公募
吉村 和剛	公募

（敬称略）

■関ヶ原町景観形成まちなみ等の詳細調査員

氏 名	備 考
桐山 日菜子	岐阜工業高等専門学校 建築学科 櫻木研究室
酒匂 大輝	岐阜工業高等専門学校 建築学科 櫻木研究室

（敬称略）